



本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

URA・社会連携センター
特任助教 田澤 茂

1月17日よりURA・社会連携センターに着任いたしました田澤 茂と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。前職では外資系化学メーカーにてライフサイエンス関連の研究に使用される樹脂製製品の品質保証業務・研究開発に携わっておりました。COVID-19の影響もあり、海外では（特にアメリカ）ライフサイエンス研究資源の多くがCOVID-19関連の活動に半ば強制的に振り分けられ、日本国内ではこれに関連する資材が不足するという事態を目の当たりとしておりました。また海外と日本の文化の違い、人間性の違い、商取引文化の違い等、非常に勉強させられることが多い経験でした。またこれまでに、医療機器メーカーにてクラスIV医療機器の研究開発業務に従事しておりました。メカニカルシールという機構と血液・タンパク質との相互作用の影響を大学との共同研究という形で解析しておりました。モデルが少なく、解析手法も限られた領域での研究活動を経験しました。その他、HPLC分析機器による化学分析業務に従事し、毒性・安全性試験では実験動物の剖検、病理等に従事し電子顕微鏡による観察等も行っておりました。いずれの活動も科学技術の高みと同時に限界も感じさせられる活動でした。またこの間に、社会人大学院生として遺伝子工学や分子生物学、免疫学に関連する研究を行いました。

学業や研究活動以外で、私が好きなものの中に野球があります。大学まで投手として活動しておりましたが、草野球でアキレス腱を切断して以来、現在は専ら観戦専門です。週末はビールを飲みながら野球を観ている時がとても幸せです。その他には本を読んだり、文字を読むことが好きです。何かしら読んでいます。また最近面白くて取り組んでいるのは古いPCの分解修理です。研究で使用していた古いMac PCをYou tubeを参考に修理したり、SSD化したりしていますが、未知の世界というのはとても面白いです。

現在担当させていただいている業務についても未知の部分が多くあり、四苦八苦しておりますが、周りの方に助けていただき何とか迷惑を掛けない程度にはなっていると思います（自分がそう思っているだけかもしれませんが）。その点、仕事と野球はよく似ていると思います。現在は助けていただくばかりですが、いつの日か助けることが出来るチームメイトになれるよう、精進したいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

インフォメーション 目次

- 01： プレスリリース (1件)
- 02： トピックス (1件)

- 03： セミナー情報 (4 件)
- 04： 助成事業および公募情報 (3 件)
- 05： 事務局からのお知らせ



- 01 プレスリリース (1 件)

◆慢性痛発症の「グリアスイッチ」発見
—難治性疼痛の治療法開発と脳回路の基本原理解明に期待—

山梨大学医学部薬理学講座及び同山梨 GLIA センターの小泉修一教授及び医学部医学科5年生檀上洋右さんらのグループは、原因や治療法が不明な慢性痛である「神経障害性疼痛を引き起こす「スイッチ」を発見しました。自然科学研究機構生理学研究所 鍋倉淳一所長、福井大学医学部 深澤有吾教授、金沢大学医薬保健研究域医学系 石川達也助教らが協力しました。

神経障害性疼痛は本邦で600万人以上の方が苦しんでいる難治性の慢性痛です。この疼痛の原因には不明点が多く、また治療法も確立されていません。研究チームは、神経障害性疼痛モデルマウスを用いた研究により、この慢性痛の引き金となるスイッチの役割を果たす「mGluR5」というタンパク質を見出しました。この mGluR5 は、末梢の知覚神経が傷害されたときに、大脳皮質一次体性感覚野(S1)のアストログリアと呼ばれるグリア細胞で選択的に発現することでアストログリアの機能をONにするグリアスイッチで、これによりアストログリアはシナプスをつなぎ替える物質を産生し、S1の神経回路の繋がり方を変えることで、脳が痛みを感じてしまう状況を作りだしていることがわかりました。グリアスイッチ mGluR5 をコントロールすることができれば、難治性の慢性痛の治療薬開発、さらにシナプス可塑性に直結する脳機能制御法の開発に繋がることが期待されます。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2022/03/20220318press.pdf>



- 02 トピックス (1 件)

◆「不妊治療が受けやすい環境整備に関する連携協定」を山梨大学と山梨県で締結 ～高度生殖補助技術センターを設置し、学部段階から胚培養士を養成～

令和4年3月30日(水)に、「不妊治療が受けやすい環境整備に関する連携協定」を山梨県と締結しました。

本協定は、胚培養士の不足等により十分な不妊治療の機会を提供できていない山梨県の課題解決に向け、本学と山梨県がより一層連携して取り組んでいくことを目的としております。

今回の協定を契機として、本学では、世界トップレベルの発生工学技術や生殖医療を先導してきた医学部及び附属病院の実績等を活用し、本年4月に「高度生殖補助技術センター」を大学院総合研究部生命環境学域の附属施設として甲府キャンパスに設置します。同センターでは、県からの補助金を活用し、胚培養士の育成などに取り組んでいきます。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/37113>



- 03 セミナー情報 (4 件)

◆【甲府商工会議所】創業セミナー(4日間コース)

本セミナーでは、ビジネスプランの作成ポイントについて、初めての方にもわかりやすく解説しながら、ご自身の計画を作成していただく内容となっていますので、ぜひご参加ください。

本セミナー修了者は“甲府市の認定特定創業支援事業を受けた創業者”として、『創業時、法人を設立する際に、登録免許税が軽減される』、『一部創業融資において金利優遇を受けられる』など、支援施策が受けられる場合があります。

日 程：令和4年5月7日(土)・14日(土)・21日(土)・28日(土)
会 場：甲府商工会議所

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://kofucci.or.jp/seminar/20220507/>

◆【甲府商工会議所】事業再構築補助金活用セミナー
～補助金を使って大きなチャレンジを実践～

新しい生活様式(テレワーク)の普及などのより、多くの事業者にとってこれまでどおりに事業ができない状況になっています。

その影響で、大きく売り上げを落とすなど先が見えず、大幅に事業を変える必要に迫られている業界もあります。

これまでのビジネスモデルから脱却し、新しい事業形態に変化するためのリフォームや設備投資などの大きな費用に対して、国が事業再構築補助金として支援します。

補助金を活用して大きなチャレンジを実施する計画を考えるセミナーです。

日 時：令和4年5月20日(金) 13:30～15:30
形 式：【現地会場】甲府商工会議所 5F ホール
【W e b】 Zoom オンライン

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://kofucci.or.jp/seminar/20220520/>

◆【ポリテクセンター山梨】生産性向上支援訓練
ビジネスとSDG s (持続可能な開発目標)の融合

世界中の企業がSDG sを経営の中に取り込もうと力を注いでおり、SDG sを経営に組み込むべく様々な取組が進められている中で、SDG sの必要性を理解し、自社のビジネスの成長につなげる知識を習得するセミナーとなっています。

日 時：令和4年5月27日(金) 9:30～16:30
会 場：ポリテクセンター山梨

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www3.jeed.go.jp/yamanashi/poly/biz/h152qs000004d1vl-att/a1645759215712.pdf>

◆【ポリテクセンター山梨】生産性向上支援訓練
管理者のための問題解決力向上

組織問題に対し、業務の問題の本質を的確に捉え、業務の問題解決を図るための手法を学び、管理者として必要となる問題解決を実行するための知識と技能を習得するセミナーとなっています。

日 時：令和4年5月30日(月) 9:30～16:30
会 場：ポリテクセンター山梨

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www3.jeed.go.jp/yamanashi/poly/biz/hl52qs000004/dlv-att/a1645759444542.pdf>



■04 助成事業および公募情報 (3 件)

◆【公益財団法人 山梨中銀地方創生基金】

(公財)山梨中銀地方創生基金は、地方創生に資する取り組みを行う団体、個人への助成を通じて、地域社会の繁栄と地域経済の活性化に寄与することを目的に 2022 年度助成事業の助成先を募集します。

●起業・創業に対する助成事業

助成対象者：2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日までに山梨県内で起業・創業を予定する、又は起業・創業した法人・個人や、起業・創業を支援する団体等

助成金額：法人・個人、団体等 ともに 1 件あたり 200 万円以内

応募期間：2022 年 5 月 9 日～ 10 月 14 日

●地域産業資源を活用した事業又は地域経済活性化を図る活動に対する助成事業

助成対象者：山梨県及びその周辺地域に本店又は主たる工場・事務所等を有し(又はこれから有する)、山梨県の地域産業資源を活用した事業又は地域経済活性化を図る活動を行う個人、団体及び中小企業等

助成金額：1 先あたり 100 万円以内

応募期間：2022 年 5 月 9 日～8 月 19 日

●U・I・J ターンする個人に対する助成事業

助成対象者：2022 年 5 月 1 日から 2023 年 4 月 30 日までの間に、U・I・J ターンにより山梨県内の企業へ新たに就職(正規雇用者に限る)し、かつ、山梨県に居住する個人(予定者を含む)

助成金額：1 人あたり 30 万円以内

応募期間：2022 年 5 月 9 日～11 月 30 日

●技術等向上に取り組む個人等に対する助成事業

助成対象者：山梨県内に居住し、高度な技能・技術・知識向上に積極的に取り組み、将来、山梨県内においてこれらの成果を活用しようとする個人

助成金額：1 人あたり 50 万円以内

応募期間：2022 年 5 月 9 日～11 月 30 日

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi-chihousousei.or.jp/furtherance/>

◆【中小企業庁】「事業再構築補助金」

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の需要や売り上げの回復が期待しづらいなか、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するための企業の思い切った事業再構築(新分野展開、事業転換、業種転換、事業再編など)を支援いたします。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://iigyousaikouchiku.jp/>

◆【やまなし産業支援機構】総合展示会出展事業

県内中小企業が自社の製品・技術等を広く周知し認知度向上を図るため、国内販路拡大につながると認められる工業製品関連(機械・電子金属・プラスチック関連)または IT 関連の展示会・見本市等へ出展するための経費の一部を助成します。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yiso.or.jp/subsidy/g-exhibition.html>

□ ■

■05 事務局からお知らせ

今年度の会員登録をいただきまして、誠にありがとうございました。
会費の請求書は5月連休明けを予定しております。

依然として、まだまだ予断を許さない状況ではございますが、ご提供できる形で活動を行ってまいります。今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

～会員会社様へ課題を伺いたします～

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。
訪問もしくは Web による面談により、会員企業様の持っておられる技術課題をお伺いたします。
ご希望の会員企業様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

■

- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■ □ ■

■ □ ■